

生活支援 NPO 等福祉団体協議会 設立趣意

世田谷の地域において、日常生活における困りごとをお持ちの高齢者、障害者及びその家族、また子育て中の方々が地域で自立した生活を送れるよう、課題の解決を図ります。

世帯構成等の変化にともなって、地域における住民同士のつながりが疎遠になり、従来の画一的な公的サービスだけでは対応しきれない状況が生まれています。このような状況の中で、地域の多様な福祉ニーズに応えるために「地域包括ケアシステム」の構築を目指して、国や自治体の制度や仕組みも大きく変わろうとしています。

そうした中で、地域における住民相互の支えあいに、期待が寄せられています。多様化する地域の福祉ニーズに積極的に応えていくためには、公的サービスや専門サービスに加えて、住民による支えあいを育てて広げること、それを地域包括ケアシステムの中で合理的な役割分担や連携のビジョンを持って推進することが必要です。

世田谷区社会福祉協議会は、これらの課題への対応策をともに考えようと、区内の NPO 有志に呼びかけて「生活支援サービス連携 NPO 会議」の枠組みを作り、サービス提供における団体間の連携を開始し、区内における生活支援ニーズの把握に努めてきました。そして、より多くの団体間の連携や、より多様なサービスの創出、また担い手の発掘・育成を協働で進めることの重要性を認識してきました。

このような経過から、このたび同会議を基盤として、新たに「生活支援 NPO 等福祉団体協議会」を設立し、生活支援に関わる多様な団体・グループの参画を呼びかけます。本協議会の活動を通じて、日常生活に支障があって困っている方々に、住民相互の支えあいがより効果的に実施され、多様な団体の相互連携と情報交換が進み、区民参加で多様な生活支援が創出され、実施される地域づくりを進めることを目指します。

平成 29 年 6 月 26 日